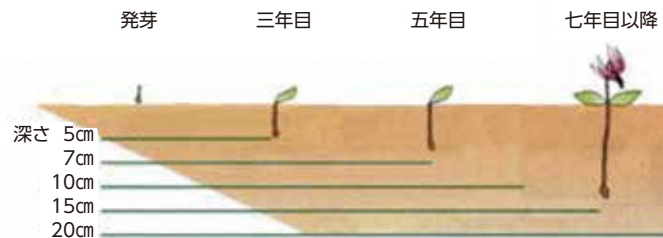


カタクリについて

- カタクリはユリ科に属する多年草で、地下にりん茎を持つ球根植物です。
- 花は、2枚の葉の間から出る15cmほどの茎に、下向きに1個つきます。紅紫色で花弁は6枚。花弁の内側の濃い紅色の模様は、花の蜜がある場所を示すといわれています。一株の開花期間は1週間程度です。
- 種子から開花まで7年以上の期間を要するといわれています。発芽1年目は針のような葉が出ます。2年目以降は楕円形の一枚葉だけで、りん茎（地中の球根）に養分を蓄えていきます。十分な養分が蓄えられると二枚の葉をつけ開花します。翌年は、再び一枚葉となり開花しないこともあります。大きく生長した株は、複数年にわたり開花を継続することもあります。

■カタクリの生長



- カタクリの芽は、2月下旬頃から地上に芽を出し始めます。3月中旬頃までに出る茶褐色の芽は一枚葉に生長しますが、花は咲きません。3月中旬頃から二枚葉になる芽が出てきて、この株が花をつけます。4月上旬頃まで次々と花を咲かせ、その後結実期に入り、5月中旬頃までに葉が枯れて地表から姿を消します。このように、約2か月という限られた地上での生活の間に、りん茎は養分を蓄え、生長しながら少しずつ地中に潜り、地表下15~20cmの深さに定着します。
- カタクリといえば片栗粉を連想しますが、昔はその名のとおりに、カタクリのりん茎から採れる良質のでん粉が使われていたそうです。現在の片栗粉はジャガイモのでん粉から作られています。

清水山の森 案内図

東京都練馬区大泉町一丁目6番



★駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください★

主な交通機関

西武バス・国際興業バス
西武池袋線 石神井公園駅北口・都営大江戸線 光が丘駅・東武東上線 成増駅南口から「土支田二丁目」下車、徒歩4分

バスの運行状況は下記QRコードをご覧ください



みどりバス
都営大江戸線 光が丘駅から みどりバス（保谷ルート）で「清水山の森」下車徒歩3分
西武池袋線 保谷駅北口から みどりバス（保谷ルート）で「清水山の森」下車徒歩3分

問合せ 練馬区 土木部 維持保全担当課 西部公園出張所 電話 03-3904-7557

令和6年（2024年）2月

清水山の森

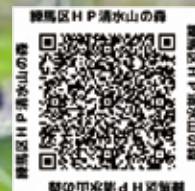
しみずやまのもり

カタクリ



東京23区で
唯一の大規模な
カタクリ群生地!

カタクリ群生地の公開時期等の最新の情報は、練馬区ホームページ「清水山の森」をご覧ください。



練馬区

清水山の森は、東京23区唯一の大規模なカタクリ群生地

白子川流域の斜面林に「カタクリが自生している」と、昭和49年6月に区民の方から情報が寄せられました。翌春に群生するカタクリを区で確認し、この貴重な自然を長く保全しようと、昭和51年に「清水山憩いの森」として整備しました。

平成29年3月、東京23区唯一の大規模なカタクリ群生地である「清水山の森」の貴重な自然を保護し、未来につなげるため、カタクリが自生しやすい環境を整備しました。



カタクリ 〈3月下旬～4月上旬〉

カタクリの花の見頃はソメイヨシノとほぼ同時期です。暖かな晴れた日の日中のみ花を開きます。曇りや雨の日、寒さの厳しい日は、花は閉じたままになります。



清水山の湧水

園内には東京の名湧水57選に選ばれた湧水も流れています



清水山の森では、いろいろな野草も見ることができます。



ニリンソウ
〈3月下旬～4月下旬〉



シュンラン
〈3月中旬～4月上旬〉



ヤマユリ
〈6月中旬～7月中旬〉



ヒトリシズカ
〈4月上旬～4月中旬〉



キツネノカミソリ
〈7月中旬～8月中旬〉